

# 町立厚岸病院から ～これからも診療体制を維持し 地域医療と福祉を支えます～



●問い合わせ／町立厚岸病院 ☎ 52-3145

■平成30年度患者数・決算状況 (単位：人)

入院患者	10,061
内科	8,446
外科	1,600
小児科	15
外来患者	45,399
内科	26,894
外科	4,965
小児科	6,966
整形外科	5,895
脳神経外科	679

	(単位：千円)
内 訳	金 額
病院事業収益	1,239,851
医業収益	809,919
入院収益	251,806
外来収益	363,688
その他医業収益	60,703
負担金	133,722
医業外収益	429,932
患者外給食・その他医業外収益	119,399
他会計補助金・負担金	310,533
病院事業費用	1,196,217
医業費用	1,120,110
給与費	700,427
材料費・経費	319,669
減価償却費・資産減耗費	97,381
研究研修費	2,633
医業外費用	76,107
支払利息及び企業債取扱諸費	36,921
医療技術員確保対策費	18,497
雑損費及び長期前払消費税勘定償却	20,689
当年度純利益	43,634

※表示単位で四捨五入しているため合計額等は一致しません

町立厚岸病院は、地域の中核的な医療機関として、内科、外科、小児科の3科を基本に、整形外科および脳神経外科の定期診療と、24時間救急医療の診療体制を守り、患者さんの目線で未来を支える地域医療を進めています。

厚生労働省では、団塊の世代が全て75歳以上になる2025年を見据えた、医療制度を含むさまざまな改革と総合的な人口減少対策を進めています。

なかでも、まちを支える世代が、住み慣れた地域で安心して仕事と子育てのできる暮らしと、豊かな老後を過ごすことができるまちづくりには、町立厚岸病院の診療体制を維持し、継続していくことが重要となります。

また、乳幼児健診から一般健診ま

## 診療体制について

平成30年度における診療体制につ

での各種健診による早期疾病の発見や、健康づくり事業と連携した各種予防接種の推進、健やかな生活を送るための健康講話や医療講演会を開催するなど、健康維持・予防への取り組みにも力を注いでいます。

『人生100年時代』と言われるようになった今日、高齢者から若者まで、全ての人が元気に活躍し続けられる社会の構築が求められています。私たちの地域においても、今まで以上に元気な高齢者が増え、各種制度の支えの下でいきいきと生活できるよう、医療と看護、リハビリテーションの充実など体制維持に努め、福祉施設と連携しながら、在宅での生活全般を支援します。

## 不採算な医療の体制維持

町立厚岸病院は、公営企業という観点から、経営にあつては独立採算を求められる企業です。しかし、町立厚岸病院は自治体病院でもあり、地域で必要とされる医療の中でも民間の医療機関が提供困難な分野である、へき地医療や24時間救急医療、高度医療などを確保し提供する使命と役割を担っています。

こうした医療は『不採算医療』と呼ばれ、この体制を維持するために国からの交付金のほか、町からの財政支援により、病院経営が成り立っています。

## 患者数の状況

平成30年度の患者数の動向については、入院患者数で1万61人となり、前年度対比2461人(19.7%)の減少となりました。

また、外来患者数では、4万5399人となり、前年度対比3088人(6.4%)の減少となりました。